

国際ボランティアと地域理解 I

科目ナンバリング INR-305
選択 2単位

西向 堅香子

1. 授業の概要(ねらい)

自然災害や貧困、経済・社会問題など、私たちは国内外の様々な地球規模課題に直面している。これらの問題を解決すべく、国や国際機関のみならず、世界中で企業や自治体、NGO、個人など多様なアクターが活動を活発化させ、ボランティア活動も急速に広がっている。グローバル化が人の国際移動を促進させる中、国内外で国際ボランティアは活躍している。本授業では、私たちが抱えている課題とそれに対する取り組みについて、またその地域の文化や社会の理解の重要性を学んでいく。机上の授業を越え、ボランティア活動実践へ踏み出すことを目指す。

2. 授業の到達目標

1. 書籍・新聞・テレビ・インターネットを通じて、自発的・積極的に国内外のニュースを収集し、客観的な視点を持って分析できる。
2. SDGsについて理解し、その解決策について創造的に思考できる。
3. 多様な価値観の存在を知り、幅広い視野を持つことができる。
4. 地域を超えて文化を学ぶことができる。
5. 国際協力や国際ボランティアについて理解し、グローバル・シチズンとして活躍できる素地を身に付けることができる。
6. グローバル社会における国家間の複雑な相互依存関係について理解し、客観的な視点を持って分析できる。

3. 成績評価の方法および基準

クイズ・リフレクションシート:30%、発表:30%、学期末試験:40%
クイズ・リフレクションシート、発表のフィードバックは授業内に行う。

4. 教科書・参考文献

参考文献

適宜授業内に配布、もしくはLMSからダウンロードする。

5. 準備学修の内容

発表・学期末課題についてまとめること。この授業では様々な地球規模課題と解決に向けて取り組む活動を見ていく。文献やニュースや新聞、インターネットなどを利用し、国内外で起きている現状の理解を心掛けましょう。

6. その他履修上の注意事項

身近にできる国際協力や自分の関心にあったボランティア活動に踏み出してもらいたい。真面目に履修する学生のみを受講とする。遅刻は厳禁とし、授業時の私語やスマートフォンを操作する学生の出席は認めない。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス:授業の概要と目的及び進め方、成績評価の方法、SDGsクイズ
- 【第2回】 ミレニアム開発目標(MDGs)と持続可能な開発目標(SDGs)
- 【第3回】 国際協力の担い手たち
- 【第4回】 つくる責任使う責任と持続可能な社会(1)
- 【第5回】 つくる責任使う責任と持続可能な社会(2)
- 【第6回】 地球温暖化と脱炭素社会
- 【第7回】 ジェンダー
- 【第8回】 多文化共生
- 【第9回】 外部講師による講義:国際協力の担い手たち
- 【第10回】 CSRを調べて発表(1)
- 【第11回】 CSRを調べて発表(2)
- 【第12回】 外部講師による講義:国際協力の担い手たち
- 【第13回】 SDGsと倫理学
- 【第14回】 これまでの振り返りと学期末試験
- 【第15回】 LMS授業